

重症心身障害児のセレン欠乏症に対するミキサー食の予防・治療効果の検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	重症心身障害児のセレン欠乏症に対するミキサー食の予防・治療効果の検討
倫理審査 受付番号	第 3946号
研究期間	2021年12月実施許可日～2022年12月31日
研究対象情報の 取得期間	当院の小児外科を受診された、重症心身障害の患者さん ※2017年8月1日～2021年7月31日までに栄養評価、栄養指導を行った患者さん
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義)

重度心身障害の患者さんは胃瘻や経鼻胃管を用いた経腸栄養管理が行われていることが多く、この経腸栄養の合併症として、セレン欠乏症が挙げられます。セレン欠乏症に対するセレン製剤やセレン含有栄養剤によるセレン補充の有用性の報告は散見されますが、ミキサー食によるセレン補充の有用性に関しては調べた限り存在しません。本研究は経腸栄養管理を行っている重度心身障害の患者さんのセレン欠乏症の発症率を調べて、その栄養形態を調べることで、ミキサー食のセレン欠乏症に対する予防効果を調べます。またセレン欠乏を認めた患児は栄養指導を行っているため、その栄養指導内容と治療効果についても検討します。

（研究の方法）

当院では2017年8月1日より障害を持った患者さんに対して積極的な栄養評価を行い、管理栄養士とともに栄養指導を行ってきました。そのため2017年8月1日から2021年7月31日までに当科で栄養評価を行った重度心身障害の患者さんを対象として、年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、経腸栄養の内容、摂取カロリー、摂取セレン量（経腸栄養剤、ミキサー食）、血中セレン濃度を調査して比較検討します。またセレン欠乏症を有した患児に関しては摂取セレン量（経腸栄養剤、ミキサー食）の変化や血中セレン濃度の変化を栄養指導前後で比較検討します。

（個人情報の取り扱いについて）

患者さん個人を特定する情報は一切わからないようにしており、プライバシーは守られます。また、この調査結果は医学雑誌などに発表することはありますが、この場合も個人情報が明らかになることはありません。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 小児外科
銭谷 昌弘（研究責任者）

TEL | （平日 9：00～17：00） 0798-45-6031